

北海道
さっぽろしりつ
札幌市立
じょうざんけいしょうがっこう
定山溪小学校

〔6年〕阿久津光佑／大野良／坂井和月／オーデルマットトーマス

Regrowth of Jozankei's Nature ～定山溪の自然の再生をめざして～



学校紹介

定山溪小学校は、人口190万人の札幌市の南区定山溪にあります。定山溪は、自然と温泉が豊かな札幌の奥座敷とも言われている観光地です。全校児童38名の小規模校で市内でも珍しい複式学級のある学校です。

マーチングバンドがあり、全校児童一緒に力を入れて練習に励んでいます。

春には、花植え活動、夏には運動会や地域清掃活動、秋には、お祭りでのマーチング演奏、冬には、雪中運動会を地域と合同で行っています。

保護者と地域と学校が一体となって子どもたちの成長を見守っている小さな学校です。

活動場所

森林学習を行うにあたり石狩地域森林ふれあい推進センターの方々にご協力いただき、活動場所や資料などの提供・提示をいただきました。森林学習の場所は、学校の学級園の一角と、南区奥定山溪の森です。森は、学校から国道230号線を20Kmlほど南下して、中山峠の手前にある国有林の林道を入っていったところにあります。



サミットに参加してみて・・・

今後の夢・希望・活動計画

全国の各地からの参加した他の学校の取り組みを知ることで、森林学習に広がり可能性を感じました。本校は、自然を育む森林の再生をテーマに活動を行ってききましたが、森林が果たす役割は、豊かな自然を育む土台であるだけでなく、森林が自然と人をつなぐ役割、人と人をつなぐ役割をしていることを強く感じました。

今回の活動を共に行った全国の学校をはじめ、札幌市内の近隣校とも「森林」を一つのきっかけにして情報交換や交流が行うことができたらと思っています。



札幌市立定山溪小学校

阿久津光佑 大野良 坂井和月 オーデルマツトーマス

Regrowth of Jozankei's Nature

～定山溪の自然の再生をめざして～

自然豊かな定山溪ですが、森の木々が少なくなっている所もあります。

定山溪の自然を守りたいと思い、ぼくたちは、3年前に森林学習をスタートしました。

3年生のとき初めての森林学習をしました。僕たちは、定山溪の森で、木の種拾いをして、その種を育てはじめました。ミニポットに植えて、ざっそく育てました。

だんだん大きくなり、はいらなくなりました。4年生の時に、少し大きくなり、植え替えを行いました。

5年生の時には、カミネッコンを作り、苗を植え替えました。

カミネッコンの苗を学校の畑で1年間育てました。

そして、6年生になった今年、大きくなった苗を、元の故郷へ戻しました！



札幌市立定山溪小学校



1 実践の成果

実践の効果や子どもの成長、今後の期待など

● 幼いころから身近に感じてきた自然(森林)について、改めて学習することで、現状や成り立ちなどに深く関心を持つことができました。親となる木から種を拾い、それを育てるという4年間の継続した体験を通して、自分たちとともに成長する木を

感じ、森に愛着を持つことができました。

● 森林管理局とタイアップした森林学習は、今年度までとなりますが、6年生には、自分たちが育てた定山溪の森を大切にするとともに、この地に誇りを持って成長して行ってほしいと願っています。

2 実践の課題

苦労したことや困ったことなど

- 森をどう再生していくことが良い方法なのか。
(どのような木をどこに増やすように活動したらよいのか。)
- 採取した木々の種子をどのように育てたらよいのか。
(苗木を育て、森に強く根付くようにするには、どうしたらよいのか。)

- 年度をまたいだ継続的な学習ではあるが、単年度での学習回数は少ないので、日常の学習や行事とどのように関連させて、子どもたちとともに学びを深めていくか。
- 6年生卒業後、今後どのようにこの学びを続けていくか。

3 課題への対応

工夫したことや課題の解決策など

- 森林管理局の方々の協力により、「森林の機能」、「森林づくり」、「森林の生物多様性」など調査、体験する機会をいただいた。また、種拾い及び定植のため、奥定山溪の国有林に活動の場を設定していただくことができた。
- 種拾い→ポット→カミネッコン→定植することで、苗

が定植した際に根付きやすくなるというカミネッコンを用いた苗木の育成方法を学ぶことができた。

- 森林学習での学びを、理科の自然観察や5年生での宿泊学習での森の観察会などでも振り返りながら学習を進めてきた。

4 その他

今後の計画や方向、抱負や希望など

● 森林学習は、定山溪中学校と合同で行ったことがあり、中学生の研究発表を見せてもらうことができた。小学校で学んだ経験や疑問を中学校で深め、学習をしてほしい。

● また、今年度をもって、継続してきた森林学習は区切りをむかえるが、6年生の発表から、定山溪の森を育む大切さとその方法を受け継いで、今後の活動方法を模索していきたい。



北海道

ちとせしりつ
千歳市立
いずみさわしょうがっこう
泉沢小学校

〔6年〕中橋伯鳳／吉田知生

「かがやきの森」活動

学校紹介

泉沢小学校は、開校17年目のまだ新しい学校です。広大な森林に囲まれ、近くには支笏湖温泉などもあります。また、新千歳空港にも近く、今年の8月には高速道路の千歳空港インターチェンジも新しくできました。児童数は305名です。「元気、明るさ、思いやり、進んでチャレンジ 泉っ子」を全校児童の合い言葉にして、いろいろな活動をしています。

活動場所

主な活動場所は、「学校林」と「かがやきの森」(遊々の森)です。「学校林」はグラウンドのすぐ横にあり、休み時間には、子どもたちがおにごっこをしたりして遊んでいます。楽しい遊び場になっています。「かがやきの森」では、石狩森林管理署の方の指導のもと、植樹、下草刈り、枝打ちなどの活動をしています。学校から500mくらいのところにあります。



サミットに参加してみても…

今後の夢・希望・活動計画

この活動を通して、自然のすばらしさや環境を守っていくことの大切さを学ぶことができます。学校から少し離れていることや、クマの出没場所でもあるので、気軽に行くことはできませんが、先輩から引き継いだかがやきの森を大切に育てていきたいと思っています。

「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 北海道
【発表要旨】

(1) 活動のテーマ

「かがやきの森」活動

☆「森林での遊び」 ☆「森林学習」 ☆「林業体験」を通して自然の大切さを知ろう

(2) 学校名

千歳市立泉沢小学校

(3) 発表者

6年 中橋伯鳳 吉田知生

(4) 学校の紹介

開校17年目です。広大な森林に囲まれ、新千歳空港に近い学校です。
グラウンド横には遊歩道、ベンチ、野外ステージのある学校林があり、
日常の観察や体験学習の場として活用しています。



(5) 活動フィールドの様子

学校から自転車で10分くらいのところに「かがやきの森」があります。「かがやきの森」の学習がある時は、自転車で行きます。私たちが植えた木がたくさん植えてあります。支笏湖周辺の復興の森での活動もしています。

(6) 活動の内容や様子(平成24年度)

1年生一葉っぱの学習・ポット苗作り

2年生一葉っぱの学習・カミネッコンづくり

3年生一枝打ち・カミネッコン植樹

4年生一枝打ち・カミネッコン植樹

5年生一樹木の選定・カミネッコン製作と植樹

6年生一「復興の森(支笏湖周辺)」植樹・樹木の外敵



千歳市立泉沢小学校

I 活動の関連

1・2年生は「生活科」3年生以上は「総合」を基本に行っています。また、教科との関連は整理されています。

「かがやきの森」を活用した 学習例

	活 動 例	関連学年と教科
森林での遊び	〈造形・工作・遊び〉 ・草花や木などの自然にふれあいながらそれらを使って工夫して遊ぶ。 ・落ち葉や木の実を集め工夫して遊んだり、おもちゃや飾りを作ったりする。 ・造形遊び ・ネイチャーゲーム ・丸太切り ・木工クラフト作り、つる細工、 ・沢での水遊び	1年生活：外へ行こうよ（みんなで遊ぼう、草花で遊ぼう） 1年生活：あきとあそぼう（つくって遊ぼう、みんなでたのしもう） 1年図工：おもしろいかたちいっぱい（いしのへんしん、はっぱのへんしん） 2年図工：外でもできるね 3年図工：切って切ってトントン（「ゆかいな木」か「えだをつかって」） 5年図工：ダイナミックスペース 6年図工：地球アート
森林学習	〈製造・建築〉 ・枝打ちの枝や倒木を利用して炭を作る（炭焼き体験） ・ベンチ、テーブル、ハンモックなどの作成。 ・隠れ家作り（ツリーハウスなど） ・昔の人々の住居の作成（たて穴式住居など）	5年国語：森を育てる炭作り 5年図工：ダイナミックスペース 6年図工：地球アート 6年社会：大昔の暮らしをのぞこう（発見！体験！大昔のくらし）

「泉沢の教育」教務22より一部抜粋

2 気をつけていること・苦労など

本校の「かがやきの森」の活動は「石狩森林管理署」と連携して進めています。専門家が学習に協力してくださることは、子どもたちにとって貴重な体験となっています。しかし、雨で外での活動ができない時、改めで別の日程を設定するのが困難な状況にあるため、急遽学校内での活動に変更するなど、当初の予定通りに活動ができなかった年もあります。

「かがやきの森」の活動時期である、6～9月はスズ

メバチの活動が活発になるので、十分な注意が必要になります。また、今年度「かがやきの森」では、春先に熊の目撃情報もありました。今まで学習に支障が出たことはありませんが、危険と隣り合わせということをお忘れずに活動しなければなりません。

「かがやきの森」に行く時に、自転車で移動しているため、交通事故にも十分に注意させる必要があります。

3 今後の展望

この活動が「石狩森林管理署」の協力なくして成り立たない活動になっているのが現状です。各学年、授業時数が年間4時間と少ないため、どうしても学習の深まりに欠けてしまいます。今

後、更に学習の深まりや継続性を持たせるために、学校林を活用した活動を、もっと積極的にすすめる必要性を感じています。今後、総合的な学習を中心とした教育課程の見直しを行っていく予定です。